

# 阿木川ダムにおける魚のへい死に関する情報（第2報：終了報）

令和5年6月26日に発表した第1報以降、魚のへい死については、昨年度のような大量へい死（約2,300匹）の兆候はなく、週当たり数匹程度のへい死で推移してきており、自動水質調査及び定期水質調査においても異常値は確認されませんでした。（別紙1、2-1、2-2参照）

以上のことから、今回の阿木川ダムにおける魚のへい死に関する情報については、本報告を以て終了報といたします。

なお、阿木川ダム管理所では引き続き湖面巡視を行い、今後も魚のへい死の有無を含め貯水池の状態を確認していきます。

—お願い—

阿木川ダム周辺で魚のへい死を確認した場合は、阿木川ダム管理所まで情報提供をお願いします。また、へい死した魚は、絶対にダム湖外へ持ち出さないようにお願いします。

令和5年7月27日  
木曾川水系水質保全連絡協議会  
独立行政法人水資源機構阿木川ダム管理所

## 発表記者クラブ

岐阜県政記者クラブ、恵那記者会、中津川記者会

## 問い合わせ先

木曾川水系水質保全連絡協議会に関すること

国土交通省木曾川上流河川事務所 総括保全対策官 川地 淳司  
管理課長 深尾 竜陽

住 所：岐阜県岐阜市忠節町5丁目1

電 話：058（251）1321（代）

魚のへい死に関すること

独立行政法人水資源機構阿木川ダム管理所 所長代理（事務） 杉山 彰一  
総務渉外班 高橋 遼平

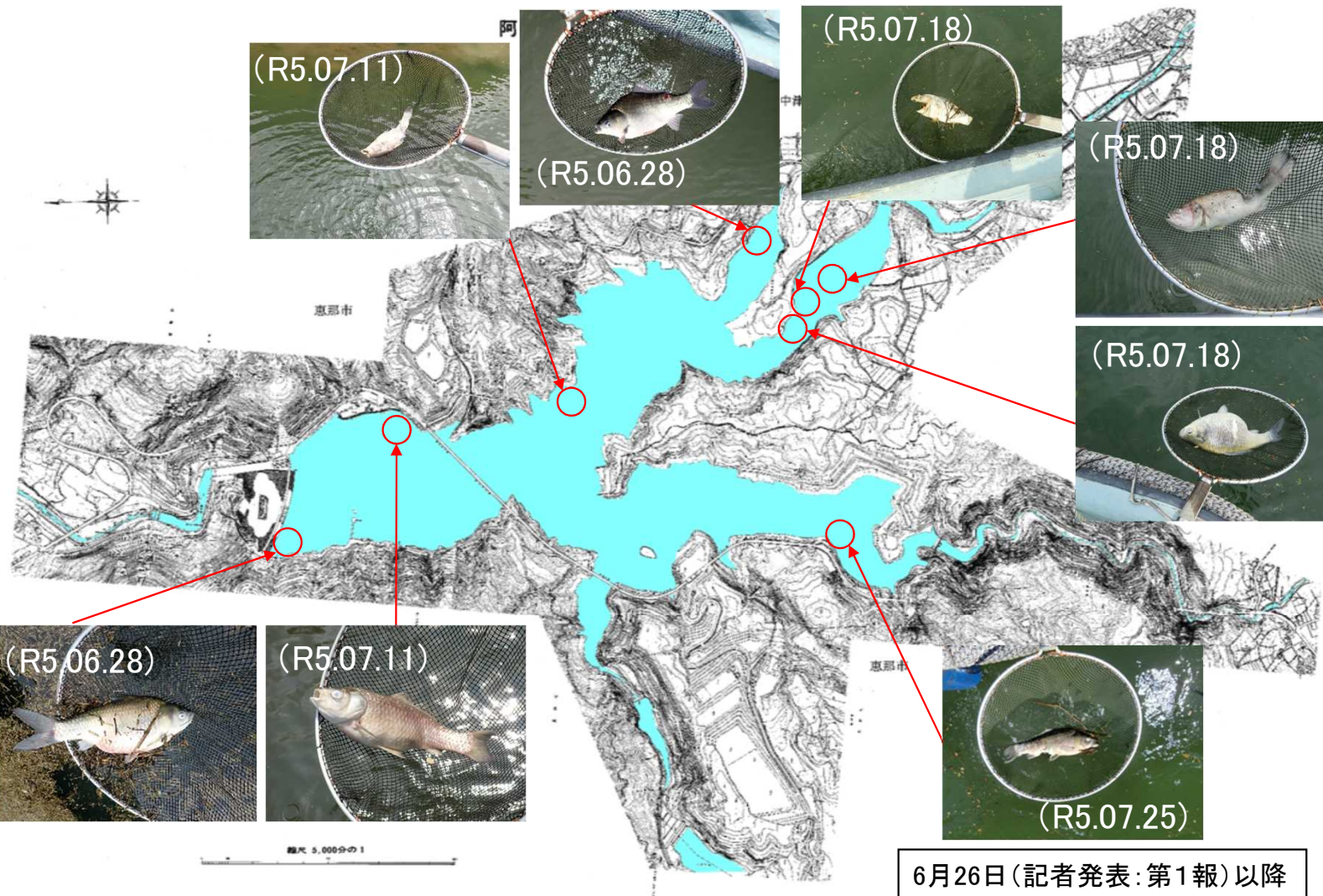
住 所：岐阜県恵那市東野字花無山2201番地79

電 話：0573（25）5295（代）

# へい死魚の発見・回収箇所位置図

(別紙1)

日付	(匹)	
	貯水池内	ダム下流
6月23日	1	0
6月26日	2	0
6月28日	2	0
6月29日	0	0
7月3日	0	0
7月11日	2	0
7月18日	3	0
7月25日	1	0



上記の表のとおり、へい死した魚の回収状況については、6月21日以降、毎回数匹(0~3匹)にとどまっています。

—冷水病とは—  
サケ、マス、アユなどに発症する致死性のある細菌性の感染症。

冷水病の病原菌は冷温性(10~20℃程度と言われている)のため、体温の低い魚類は感染するが、人の体温は冷水病の増殖可能温度を大きく超えているため感染はほぼ考えられないと言われています。

6月26日(記者発表:第1報)以降

# 水質観測地点位置図

(別紙2-1)

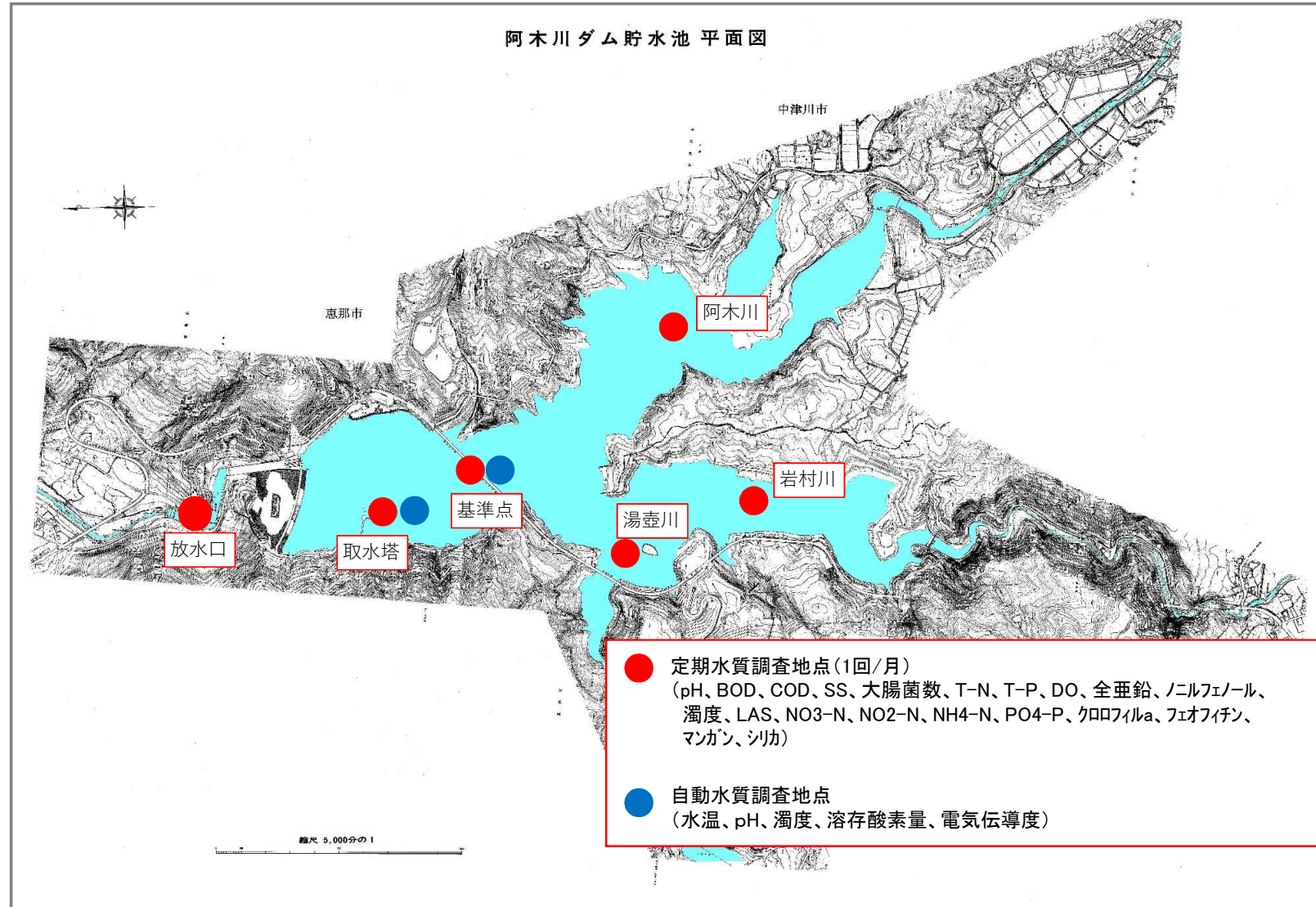
## －水質の状況－

令和5年7月4日(火)に実施した、ダム下流及び貯水池における●定期水質調査の結果、異常は確認されていません。

なお、貯水池内の●自動水質調査においても、異常は確認されていません。

## －今後の対応－

- ・貯水池及びダム下流の巡視及び水質調査を継続。
- ・へい死した魚の回収と適切な処理。
- ・一般者に対し、へい死した魚を確認した場合の情報提供依頼と、へい死した魚をダム湖外に持ち出さないことについて、HPでお知らせするとともに、ダム周辺にも掲示して周知。



## 水質調査結果表（定期水質調査地点測定項目） ●

※水質の適正判断：環境基準「河川A類型・生物A類型」との比較において、全ての観測地点における項目で環境基準を満足している。

分析項目	略名	河川A類型 生物A類型	基準地点 阿木 川大橋 No.200 表層(0.5m)	基準地点 阿木 川大橋 No.200 中層(1/2水深)	基準地点 阿木 川大橋 No.200 底層(底上1m)	貯水池補助地点 取水塔前 No.201 表層	貯水池補助地点 阿木川 No.202 表層(0.5m)
水素イオン濃度	pH	6.5以上 8.5以下	7.1/21.0℃	7.0/21.0℃	6.7/20.9℃	7.1/20.9℃	7.0/20.9℃
生物化学的酸素要求量	BOD	2以下	1.2	0.5	0.4	1.2	1.0
化学的酸素要求量	COD	-----	2.9	2.7	1.6	3.0	2.7
浮遊物質	SS	25以下	4.0	9.8	2.7	4.4	3.7
大腸菌数(*)		300以下	21	54	6	22	18
総窒素	T-N	-----	0.482	0.525	0.533	0.511	0.481
総リン	T-P	-----	0.029	0.034	0.011	0.029	0.027
溶存酸素量	DO	7.5以上	10.0	8.4	12.0	10.1	9.3
全亜鉛		0.03以下	0.002	-----	-----	-----	-----
ノニルフェノール		0.001以下	<0.00006	-----	-----	-----	-----
直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	LAS	0.03以下	<0.0006	-----	-----	-----	-----
濁度(*)		-----	6.6	14.3	3.0	6.7	5.9
硝酸態窒素	NO <sub>3</sub> -N	-----	0.226	0.260	0.409	0.235	0.244
亜硝酸態窒素	NO <sub>2</sub> -N	-----	0.007	0.006	0.002	0.006	0.006
アンモニウム態窒素	NH <sub>4</sub> -N	-----	0.024	0.023	0.019	0.018	0.018
オルトリン酸態リン	PO <sub>4</sub> -P	-----	0.002	0.017	0.004	0.004	0.005
クロロフィルa		-----	5.8	0.4	0.4	6.4	4.0
フェオフィチン		-----	2.4	1.7	0.2	2.4	2.3
マンガン		-----	0.008	0.016	0.062	-----	-----
シリカ		-----	11	11	9	-----	-----



分析項目	略名	河川A類型 生物A類型	流入河川地点 (貯留ダム直下) 阿木川 No. 310	流入河川地点 (貯留ダム直下) 岩村川 No. 311	流入河川地点 (貯留ダム直下) 湯壺川 No. 312	放水口地点 向 島 No. 100
水素イオン濃度	pH	6.5以上 8.5以下	-----	-----	-----	6.9/21.3℃
生物化学的酸素要求量	BOD	2以下	-----	-----	-----	0.5
化学的酸素要求量	COD	-----	-----	-----	-----	2.6
浮遊物質	SS	25以下	-----	-----	-----	4.9
大腸菌数(*)		300以下	-----	-----	-----	50
総窒素	T-N	-----	-----	-----	-----	0.520
総リン	T-P	-----	-----	-----	-----	0.028
溶存酸素量	DO	7.5以上	-----	-----	-----	9.4
全亜鉛		0.03以下	-----	-----	-----	-----
ノニルフェノール		0.001以下	-----	-----	-----	-----
直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	LAS	0.03以下	-----	-----	-----	-----
濁度(*)		-----	2.8	1.5	3.7	6.6
硝酸態窒素	NO <sub>3</sub> -N	-----	0.213	0.308	0.635	-----
亜硝酸態窒素	NO <sub>2</sub> -N	-----	<0.001	0.006	0.029	-----
アンモニウム態窒素	NH <sub>4</sub> -N	-----	0.024	0.027	0.100	-----
オルトリン酸態リン	PO <sub>4</sub> -P	-----	0.011	0.022	0.097	-----
クロロフィルa		-----	-----	-----	-----	1.9
フェオフィチン		-----	-----	-----	-----	1.9
マンガン		-----	-----	-----	-----	0.010
シリカ		-----	-----	-----	-----	-----